



KAKEHASHI

INDEX

I 応援職員のご紹介

- (1) 宮古市 p2
- (2) 大船渡市 p3
- (3) 陸前高田市 p4
- (4) 釜石市 p5
- (5) 大槌町 p6
- (6) 山田町 p7
- (7) 田野畑村・野田村 p8

II 特集

お元気ですか?～あの方は今～ . . . p9

＜H27年度総集編＞

発行: 岩手県政策地域部市町村課



【H27.11 山田町】
山田の牡蠣シーズン到来



【H27.8 陸前高田市】
灯をともした幻想的な山車
(うごく七夕)



【H27.10 釜石市】
世界遺産登録された「橋野鉄鉱山」、2019年のラグビーワールドカップ開催と今、熱い釜石！！



【H27.12 大槌町】
初冬の風物詩
「新巻鮭の寒風乾し」



【H27.9 大船渡市】
三陸・大船渡 東京タワーさんままつり



【H27.7 宮古市】7/19 宮古港カッターレース♪
←宮古市役所チーム(左列後ろから1, 2, 4人目は応援職員の方々です)



応援職員から

①山田 津八百
(やまだ つやお)

②鳥取県米子市

③H27.4.1～H28.3.31

④都市計画課(計画担当)

⑤以前から、東日本大震災の災害復興のお役に立てないかと考えていましたが、定年退職を機に、全国市長会の幹旋

で、再任用職員として宮古市に勤務することになりました。一人暮らしをするのは学生時代以来で、炊事や洗濯も殆ど経験がない上に、職場環境や言葉の違い、地名も分からない等、最初は戸惑いもありましたが少しずつ慣れて来ています。現在、美しい自然に恵まれた宮古市の魅力や復興状況等を米子市職員に発信しています。



①武藤 保幸(むとう やすゆき)

②岡山県岡山市任期付

③H25.1.1～H29.3.31

④都市整備部都市計画課(区画整理に関する業務)

⑤宮古に来て早3年目になり月日のたつのが早いと実感しております。また、被災から5年目になりますが、着任当時から見ればかなり復興も進み以前の生活に戻りつつあるな一と感じています。わたしは、区画整理の未整備カ所の工事の設計～施工管理を主に行い、職場の皆さんとも楽しく過ごしています。また、工事の打合せ等についても地元の皆さんは、協力的で慣れない土地ではありますが、私自身地元へ溶け込んで復興支援が出来ていると思っています。

休日は、観光地、温泉地巡り等で東北を満喫しております。最後に任期を終えられた皆様の送別会に参加させてもらいましたが、いろいろと考えさせられることがあります。5年後には、宮古(復興した・・・)を訪れたいと考えています。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



①内本 勝彦(うちもと かつひこ)

②大阪府堺市

③H27.4.1～H27.9.30

④教育委員会文化課
(遺跡の発掘調査)

⑤宮古は親切な街だと思います。赴任当初、コンビニで文房具店を尋ねると、わざわざ紙に書いて丁寧に教えて下さいました。また、GWに家族が来た際、ある人に布団のレンタル店は無いかと尋ねたところ、押入れの肥やしでよければと、かわいい女性用も含めて3セットも貸していただきました。後日、その方の娘さんが、GWに東京から帰って来られていたと聞き、布団を取ってしまったのではないかと尋ねると、大丈夫よと、ただ笑っておられました。そんな多くの優しさに支えられながら日々を過ごしています。短い期間ですが、一日も早い復興のため、そして宮古の優しさに応えるためにも頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

て丁寧に教えて下さいました。また、GWに家族が来た際、ある人に布団のレンタル店は無いかと尋ねたところ、押入れの肥やしでよければと、かわいい女性用も含めて3セットも貸していただきました。後日、その方の娘さんが、GWに東京から帰って来られていたと聞き、布団を取ってしまったのではないかと尋ねると、大丈夫よと、ただ笑っておられました。そんな多くの優しさに支えられながら日々を過ごしています。短い期間ですが、一日も早い復興のため、そして宮古の優しさに応えるためにも頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

①谷 敏明
(たに としあき)

②群馬県桐生市

③H27.4.1～H28.3.31

④都市計画課

(用地買収業務)

⑤上州名物「からっ風と

かかあ天下」で知られる群馬県桐生市から派遣し、宮古市都市計画課にて、津波復興拠点整備事業の用地買収業務を担当しています。桐生市と宮古市は「災害時における相互援助に関する協定」を締結していることもあり、復興に尽力するとともに、両市のパイプ役としての役割も担えるよう努力しています。宮古市は宮古港開港400周年を迎え、盛り沢山のイベントが開催され、休日は楽しいひと時を過ごしています。山本 市長は「宮古は必ず復興します。」と宣言し、積極的な事業を展開し実行していますので、その一役を担えるよう頑張ります。



浄土ヶ浜にて

①藤谷 大輔(ふじや だいすけ)

②秋田県大仙市(旧大曲市) ③H27.4.1～H28.3.31

④都市整備部建設課維持担当

⑤復興関連の工事の設計・積算・施工管理を主に任されております。宮古市は海・山・川と全てがそろっており、内陸出身の自分にとっては普段経験できない海の工事も手掛けることがあり、とても貴重な経験をさせてもらっています。1年間という短い派遣期間ですが、このような派遣の仕事は二度と経験することが無いことであり、地元へ帰ってからも被災地の現状、宮古市で得た経験を広く伝える事で、微力ながら復興のお手伝いになればと思っています。



①近藤 智広(こんどう ともひろ)

②茨城県笠間市 ③H26.4.1～H28.3.31

④危機管理課(防災担当)

⑤宮古市をはじめ津波の被害の大きかった沿岸各地は、まだまだ復興道半ばである事を日々感じております。そのような中で、自治会、自主防災組織、消防団等、地元住民の方々との関わりも多くあり、これだけの大きな震災によるダメージを受けながらも一歩一歩前へ進んでいるひたむきな姿、さらには、今後にも備えようとしている強い姿を見ていると、深い感銘を受け、逆に励まされているような気持ちになりながら業務に励んでおります。





応援職員から

- ①大場 諭 (おおば さとし)
- ②埼玉県越谷市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④都市整備部住宅公園課 (宅地復旧補助金及び敷地造成補助金受付業務)



⑤私は過去にボランティアに参加して、被災地で瓦礫撤去作業をしました。その時に見た瓦礫の山の光景は今でも忘れられず、津波の残酷さを感じました。当時の気持ちを思い出し、何か被災地のために役立てればと思い、応援職員に立候補させて頂きました。私を送り出すことにより負担をかけている越谷市の仲間、復興事業で忙しい中、派遣職員の受け入れ態勢を整えてくださっている大船渡市の皆様に感謝しつつ、復興のために尽力したいと思います。

- ①関 竜也 (せき たつや) ②愛知県東浦町
- ③H27.4.1～H28.3.31 ④総務部 防災管理室 (防災行政無線、戸別受信機関連業務)

⑤愛知県の知多半島にある東浦町から派遣され、早くも4ヶ月が過ぎようとしています。赴任当初は慣れない生活に不安もありましたが、山登り、バレーボール、ホタテの養殖作業やウニの出荷作業のお手伝いなど、様々な活動に声をかけていただき、今ではとても充実した日々を過ごしています。目下のところ、盛町灯ろう七夕まつりに誘っていただき、連日連夜、灯ろう七夕山車の制作作業に参加しています。今後も大船渡での生活を満喫しながら、少しでも復興の助けとなれるよう頑張っていきたいと思っています。



- ①栗脇 幸仁 (くりわき ゆきひと)
- ②鹿児島県鹿屋市
- ③H25.4.1～H28.3.31
- ④農林水産部水産課 (漁港施設災害復旧事業)



⑤平成25年3月末に、桜島の南東に位置する鹿屋市から大船渡市に家族4人で赴任し、早いもので2年が経過しました。当時は、瓦礫撤去後の土地のみが広がり、復興に向けての槌音が聞こえ始めた頃でした。港湾や漁港の災害復旧や、宅地造成や区画整理等の工事も本格化し、赴任当時の風景が次第に変わりいく様をみながら、確実に復興に向けて進んでいることを実感しています。生活面では、家族や趣味を通じた職員の仲間と登山やウィンタースポーツをしながら、岩手の自然を満喫し、充実した日々を送ることができています。残りの期間も限られていますが、復興に向けて少しでも力になれるよう努めたいと思います。

- ①近藤 幸信 (こんどう ゆきのぶ)
- ②大阪府泉佐野市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④災害復興局 市街地整備課 (土地区画整理事業及び防災集団移転事業監理)
- ⑤未曾有の災害に遭遇し、土木技術者として「なにかお役に立ちたい」との思いがあり、今回、念願が叶って赴任することができました。“新選組で一番強かった男”南部藩脱藩浪士 吉村貴一郎を描いた小説「壬生義士伝」の中で、彼の「南部盛岡は日本一の美しい国でござんす。西に岩手山がそびえ・・・」のせりふに感動し、憧れの南部盛岡に来たことがあります。今回の赴任は素敵な同僚やご近所の方々に恵まれ、素晴らしい人生の思い出になると思います。



- ①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

- ①矢嶋 亜咲子 (やじま あきこ) ②千葉県
- ③H26.4.1～H28.3.31
- ④生活福祉部 地域福祉課 (精神保健福祉業務)
- ⑤思い起こせば、昨年も今頃「KAKEHASHI」の原稿を書いていました。1年の予定が、2回目の大船渡の夏を堪能しています。昨年度と比べて、地域の力が求められる状況になってきました。それだけ復興が進んでいるということでしょうか。応急仮設住宅で生活していた被災者の方は、恒久住宅に転居し始めました。新しい環境に馴染むのは大変かもしれませんが、地域の力が発揮できるよう、微力ながらお手伝いしたいと思います。



それだけ復興が進んでいるということでしょうか。応急仮設住宅で生活していた被災者の方は、恒久住宅に転居し始めました。新しい環境に馴染むのは大変かもしれませんが、地域の力が発揮できるよう、微力ながらお手伝いしたいと思います。

- ①西間 敏幸 (にしま としゆき) ②北海道稚内市
- ③H26.4.1～H28.3.31 ④災害復興局市街地整備課 (土地区画整理事業の移転補償業務)

⑤「宮沢賢治」は、妹のとし子さんを亡くし、傷心旅行のために1923年7月31日から8月12日まで、稚内から定期船に乗って、当時、日本領であった樺太(大泊)に渡たる。その時の構想が小説「銀河鉄道の夜」を書き上げた。いま、稚内とコルサコフのフェリー航路が危機にありますが、私とサハリン旅行をしたい方を探しています。私の曾祖父は岩手県出身で、旭川市東鷹栖の開拓農家でした。派遣2年目に入ります。よろしく。





応援職員から

- ①福永 朗（ふくなが あきら）
- ②福岡県福岡市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④都市整備局市街地整備課（用地取得等）



⑤福岡市での20年の用地買収経験を災害復興のために生かしたく震災発生時から派遣を希望していました。以前も激甚災害事業のため他の自治体へ2年間派遣に行った際、仕事はもちろん、友人もでき、いい経験ができたこともあり今回の派遣でもいろいろなことを経験したいと思います。職場の雰囲気もよく、業務の目標がはっきりしているため大変やりがいがある仕事だと思います。市民の方も事業に協力的で感謝しております。岩手県は海あり山ありで、自然が豊かで食べ物もおいしく、自分には合った環境だと思います。また、いい温泉が数多くあり、バイクでの温泉めぐりが休日の楽しみとなっています。1年間という短い期間ではありますが、少しでも復興の力になれるよう頑張りたいと思います。

- ①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



- ①水谷 堅（みずたにつよし）
- ②愛知県名古屋市長
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④教育委員会教育施設整備室（小中学校や社会教育施設に関する修繕業務、学校建設）
- ⑤今までの経験を生かして被災地の皆様に貢献したいと考え、希望してきました。既に赴任して3か月経過し、職場にも慣れ、周りの方々に助けられながら職務に励んでいます。日中は暑い（7月上旬）ですが、朝晩は気温が低く夏は名古屋市より随分過ごしやすと感じています。私が担当する業務は、小中学校や社会教育施設に関する修繕業務や小学校の建設です。これらの業務を通して、子供たちが不自由なく教育を受けることができるように、ハード面で支えていきます。

- ①武本 康睦（たけもと やすよし）
- ②和歌山県和歌山市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④農林水産部農林課農政係



⑤農地中間管理事業が昨年度から始まりました。農業の担い手への農地集積・集約化により、農地の有効活用や農業経営の効率化を進めていく新しい仕組みです。当市の新ブランド米「たかたのゆめ」とともに、地域の復興には、農業の復興が欠かせないものです。地域農業の着実な復興に向けて、その歩みに関わる機会を与えられたこと、そしてお世話になっている方々に感謝を申し上げ、日々の業務に取り組んで参りたいと思います。

- ①永田 敏幸（ながた としゆき）
- ②島根県松江市
- ③H26.4.1～H28.3.31
- ④建設部建設課（道路・橋梁防災集団移転等）
- ⑤震災直後、茨城県へ震災の応援に行きましたが、東北の甚大な被害を目の当たりにした時、いつか東北の地で応援できたらいいなと思い、その時期を待っていました。その思いが叶ったのが昨年のもので、ご縁があって陸前高田市で2年目の生活を送っています。長年蓄えてきた“土木の力”を信じて復興に携わりたいと思います。賑やかな雰囲気の仕事ができる職場の皆さんへの感謝と、東北人の人情を粹に感じながら東北で出会う縁（えにし）を大切にしたいと思います。



- ①岡山 達也（おかやまとつや）
- ②京都府京都市
- ③H26.4.1～
- ④被災者支援室（住宅再建支援）
- ⑤震災のあった年に陸前高田市を訪れ、酸鼻な状況の中で尽力する人々の姿に心を打たれました。以来、何度か足を運んできましたが、今回こうして長期にわたって従事できることに感謝



しています。関西とは言葉や生活環境のみならず、文化や価値観も大きく異なるため初めは戸惑うこともありましたが、あたたかく心優しい人たちに恵まれ、充実した毎日を送っています。今では陸前高田市のことが大好きです。これからも精いっぱい頑張りたいと思います。

- ①久保 善輝（くぼ よしてる）
- ②富山県立山町
- ③H26.10.1～H28.3.31
- ④総務部税務課（市県民税普通徴収）



⑤震災復興とにかく何かのお手伝いがしたい、と思い志願しました。毎日不慣れなことが多い中、職場のみなさんにはいろいろと気さくに親切にいただき、感謝の一言に尽きます。税に関わる仕事を通して見ましても、陸前高田市の復興が着々と進んでいることや、住民の皆さんがとても頑張っているのが見えます。短い期間ではありますが、少しでも陸前高田市や住民の皆さんのお役にたてるように、一生懸命がんばります。



応援職員から

- ①末永 芳治
(すえなが よしはる)
- ②福岡県北九州市
- ③H27.4.25～H28.4.24
- ④産業振興部水産課(漁港の災害復旧(設計、積算、監督))
- ⑤2度目の釜石派遣です。前は、人生初の一人暮らしを満喫しましたが、今回は家族を連れてきました。週末は東北地方の観光地巡りをしています。今年度は集中復興期間の最終年度、これまで以上に結果にこだわり、スピード感を持って仕事に取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

- ①北川 麻由
(きたがわ まゆ)
- ②神奈川県藤沢市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④鶴住居地区生活応援センター(公民館担当)
- ⑤派遣職員の募集を見たと公民館職員の募集があり、それなら役に立てるかもしれないと思い手を挙げました。運よく公民館配属となり、職場の仲間も暖かく受け入れてくれて、毎日とても楽しく過ごしています。地元を知りたいので、休日はなるべく出かけています。まず釜石近辺を回りましたが、県内遠方にも足を延ばそうと思っています。それにしても岩手は広い！見どころ全部回れるよう頑張ります。もちろん、仕事も頑張ります！



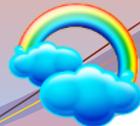
- ①太田 敏弘(おおた としひろ)
- ②千葉県柏市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④市民課医療給付係(後期高齢者医療関係)
- ⑤市役所職員として25年が過ぎ、環境を変え自分を試したいと思い一念発起しました。岩手県は母の故郷ということもあり、幼少の頃から夏休みには訪れ、すぐそばの川でカジカなどの魚をヤスで突いて遊んでいました、なので岩手県は故郷のような場所、ここ釜石にも震災前に訪れたことがあり、イカ釣りに乗って漁をお手伝いしたこともありました。故郷で働ける幸せを感じながら、復興の一助になればと思っています。熱い釜石！



- ①平野 理奈(ひらの りな)
- ②岐阜県各務原市 ③H27.4.1～H27.9.30
- ④建設部都市計画課(確認申請等の審査業務)
- ⑤市役所に入庁する1か月前に震災があり、技師の端くれとして、復興支援に携わりたいと願っていました。しかし、派遣元の市の方針が「即戦力となる人を派遣する」であったため、入庁して間もない私に声がかかるはずありませんでした。そのため、とにかく実践を積むしかないと働いていた結果、昨年度に声がかかり、今回の派遣に来ることができました。4月は、窓口対応や審査業務の中で躓くことも多く、本当に自分が来てよかったのだろうかと思惑することも多かったのですが、いつもご飯を食べにいくお店の方が「自分のできる事を精一杯やりなさい」と声をかけて下さり、前向きに仕事に取り組めるようになりました。今では、同じ職場の先輩方に助けられながらも、楽しく仕事に取り組んでいます。釜石市に派遣された先輩方に、「釜石の人は優しいから！」と言われていたのですが、本当に優しい方が多く、人生でやりたい事の2つ「トライアスロン」と「サーフィン」を経験させていただきました。先日釜石で行われた『釜石はまゆりトライアスロン国際大会』に参加し、30代女子の部・第3位(注)をいただくことができ、釜石でのいい思い出ができました！
(注：30代女子が3人しかいないため、完走＝第3位)

- ①藤岡 健太(ふじおか けんた)
- ②北海道室蘭市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④産業振興部水産課基盤整備係
- ⑤下水処理場の建設、下水道管の復旧・新設、防潮堤の嵩上げの現場監督・設計業務とジャンル幅広く担当させていただき、釜石の復興に微力ながらも貢献出来ているのではないかと実感させていただいております。北海道からの新たな土地での生活は、正直寂しい気持ちになることもありましたが、幸運にも人との出会いに恵まれ、本当に新鮮な気持ちで充実した日々を過ごさせていただいています。復興への力へと思い、釜石に派遣させていただいたのに、周りの方々に助けてもらってばかりで本当に感謝の毎日です。趣味のサッカーもレベルの高い環境で活動出来ること、観光へも本州は北海道と違って陸が続き、車でどこまでも行けるので精力的に名所へ顔を出しています。仕事とプライベートとメリハリはしっかりつけて、これからの釜石のために少しでも何かを残すため、全力で取り組んでいきたいと思っています。





応援職員から

- ①島田 祐一 (しまだ ゆういち)
- ②岡山県倉敷市
- ③H27.4.1～H27.9.30

④環境整備課下水道班 (下水道新設工事の設計積算)
 ⑤大槌町に派遣されて早くも3ヶ月が経ちました。当初は派遣元よりも幅の広い仕事に対して混乱することもありましたが、今は仕事内容や職場の雰囲気にも慣れました。また、趣味のスポーツを通じてプロパー職員・派遣職員を問わず付き合いが増えてきて、楽しく過ごしています。そんな日々の中で大槌の自然の雄大さと食事(特に海産物!)の美味しさ、明るく行動力のある人々にいつも感動しています。大槌町は「町中工事現場」といった感じでダンプトラックが毎日走り、盛土の高さもどんどん上がってきています。土木技師としては「数年後にはどうなっているんだろう」と今からワクワクしながらも、その一端を担う責任を果たせるよう頑張りたいと思います。



- ①齊藤 なつみ (さいとう なつみ)
- ②新潟県長岡市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④総合政策部 公民連携室 計画班 (復興拠点施設の整備、集会所の整備管理運営等)

⑤新潟県の越後平野で生まれ育った私にとって、岩手県の山川やリアス式海岸のある環境はとても新鮮です。派遣先の職場は今年度新設された部署で、建築技師は私一人しかいません。すべてが手探りで仕事ですが、貴重な経験をさせてもらっています。1年間の派遣期間の思い出を残したいと思い、一眼レフカメラを購入しました。美しい景色、美味しい食べ物や癒しの温泉を求めて、いろいろな場所へ出かけたいです。

- ①平野 大輔 (ひらの だいすけ) ②東京都千代田区
- ③H27.4.1～H28.3.31 ④農林水産課

⑤大槌町に派遣され早くも4カ月が経ちました。当初は、水産という職場でやっていけるのだろうかと不安も大きかったですが、職場の方々を支えられながら毎日過ごしています。また、派遣前の部署である広報の仕事も活かせるのではと購入したカメラを片手に現場に出ることも多く、幅広く水産の業務に携わらせていただいております。震災当時に「なにか力になりたい」と感じた気持ちを忘れずに、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



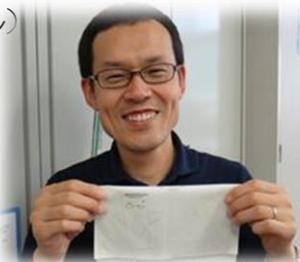
- ①宇澤 俊 (うざわ しゅん)
- ②大阪府岸和田市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④復興局都市整備課(調整、景観形成推進業務等)
- ⑤平成24年度に1年間派遣し、また大槌町の役に立てればと思い、派遣を希望しました。大阪府と比べると岩手は本当に大きく、目的地までの距離が長く車での移動が大変なうえ、山道を運転していると鹿などの動物が道路に飛び出してくるので、いつもビクビクしながら出かけています。配属先は全国からの派遣の人が多いので、楽しく業務に励んでいます。1年という短い期間ですが、みんな力を合わせて復興に役立てればと思います。



①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

- ①宮前 卓志 (みやまえ たくじ)
- ②東京都西東京市
- ③H27.4.1～H28.3.31
- ④保健福祉課(障がい者福祉・生活保護)

⑤来ました岩手！派遣前から夏休みには東北巡りが我が家の定番。でも、八幡平、二戸、盛岡、雫石、紫波、花巻、遠野、平泉などなど、内陸ばかりで沿岸に足を踏み入れるのはこの派遣が初。嫁さんを東京に残しての単身赴任。その嫁さんも妊娠中でこちらに来られず…残念。今度、家族で来る時は、子供も連れて少し賑やかな東北巡りになりそうです。その時に備えて美味しいものなどを探し回っています。そうそう、仕事もがんばります！



- ①小嶋 一洋 (こじま かずひろ)
- ②宮崎県木城町
- ③H27.4.1～H27.9.30
- ④環境整備課(管理班:復興交付金申請がけ近事業、災害公営住宅払下げ等)

⑤大槌町に来て一月が過ぎました。気候も穏やかで、とても快適に過ごしています。海、山、川を中心に自然が豊かなのは宮崎も同じですが、こちらは北国特有の雰囲気があり、また違った趣があります。業務に関しては、被災地特有の課題が山積していますが、直近の課題から、5年後、20年後に直面するであろう課題も見据え、組織全体で目的(問題)意識を持って業務を遂行しており、私自身も非常に刺激を受け勉強になっています。9月までの任期ですが、少しでも大槌町の復興に役立てるよう自分の役割を全うし、帰任できるよう頑張りたいと思います。



応援職員から

①武井 高典
(たけい たかのり)

②長野県千曲市

③H27.4.1～H28.3.31

④建設課用地係(用地取得・農地転用申請・譲渡取得の税特別控除等の事務)

⑤本年4月から山田町でお仕事をしています。用地取得業務と

いうこれまでに経験のない仕事で最初はわからないことばかりでしたが、周りの方に教えていただきながら進めています。私は中学の頃からずっとサッカーを続けています。山田町でも職場のサッカー部、地域のサッカーチームに所属し、仲間と練習、試合に行ったり、時に〇〇な話で盛り上がりたりしてメリハリの付いた生活を送ることができています。派遣期間も気づけば3ヶ月、4分の1が経過しましたが、残り4分の3も少しでも復興の推進力になることができればと思います。



①中戸川 達矢

(なかとがわ たつや)

②静岡県 ③H27.4.1～H28.3.31

④水産商工課(町管理漁港海岸の災害復旧)

⑤震災の復興、復旧に携わりたいという思いと、これまでに岩手県に赴任していた先輩職員の方に背中を押されたこともあり、岩手県への派遣を希望しました。静岡県に入庁してから、県外に赴任するのは初めての経験で、慣れない部分も多くありますが、明るい職場の雰囲気

に支えられて新鮮な気持ちで仕事ができている。岩手の印象はとにかく食べ物



が美味しいこと。山田のカキ、ウニの美味しさには驚愕しました。

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



①鈴木 庸介(すずき ようすけ)

②静岡県藤枝市

③H27.4.1～H28.3.31

④建設課(防災集団移転促進・都市計画道路)

⑤これまでの人生で、東北地方に足を踏み入れたことが2回しかない人間が山田町へ来て約半年、目にするもの全てが新鮮で、毎日楽しく過ごして

おります。派遣元へ戻った後も、未永く岩手県、そして山田町のファンでありたいと思っています。山田町の復興はもちろんのことですが、東海地震が想定される静岡県から来た者として、少しでも多くのことを学び、持ち帰ることも役割のひとつとして、励んでいきたいと思っています。



①影山 徹(かげやま てつ)

②静岡県静岡市

③H27.4.1～H28.3.31

④建設課(船越・田の浜地区防災集団移転事業、土木事業)

⑤静岡県静岡市から来ました。主に船越・田の浜地区防災集団移転事業を担当しています。知らない土地で復興事業に取り組むという

ことで、着任当初は不安な気持ちでしたが、周りの方々に支えられて、なんとか仕事を進めることができています。また、休日は、ランニングや水泳をして体を動かしたり、派遣職員の方々と出かけたりしてリフレッシュしています。残りの期間、自分の業務にしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

①松本 博樹(まつもと ひろき) ②千葉県香取市

③H27.4.1～H27.9.30

④建設課(土木事業に関する設計、発注、施工管理業務)

⑤山田町に赴任し早いもので2か月が経ち、初めての東北生活に不安はありましたが、少しずつ慣れてきました。岩手県は自然が素晴らしく、食べ物がとても美味しいです。休日は同じ派遣職員の方々と様々な場所を巡り、東北を堪能してます。

全国各地から来られている職員の方とも交流をもつことができ、よい刺激を受けています。派遣期間が半年間と短いのですが、残された期間を山田町の復興に少しでも役に立てるよう頑張りたいです。



①瀬藤 和秀

(せとう かずひで)

②和歌山県和歌山市

③H27.4.1～H28.3.31

④復興推進課(復興計画)

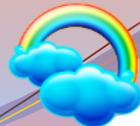
⑤震災後、派遣の話があり

H23年7月～3ヶ月間、

山田町で色々な事を肌身で

感じ、その後ずっと気になっていた山田町へ今年度再び来ることができました。震災復興について、微力ながらも町の復興に尽力したいと考えています。また仕事以外にも山田の祭りに参加させて頂き、山田の海・山の美味しいものを食し、趣味の釣りを楽しんでいます。これからの季節、寒冷地での生活に多少の心配はありますが寒さに負けず町のため頑張ります。





田野畑村

応援職員から

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言



①松村 正康（まつむら ただやす） ②埼玉県深谷市
 ③H27.4.1～H28.3.31 ④建設第一課 村道復興整備事業
 ⑤最初の会社で、震災後の神戸へ行く機会がありましたが、当時は何もできなかったため、今回岩手県へ派遣の話があった時に、復興支援に少しでもお役に立てればと思いました。岩手県の印象は、自然がたくさんあり美しく、毎日、海を見ることもでき、埼玉県から来た私には、別世界にいるような感じです。この一年間は健康に注意して業務を進めていきたいです。そして来年の『いわて国体』でまた戻ってきたいです。

野田村

応援職員から

①土岐 順久（とき よりひさ）
 ②村任期付（元青森県弘前市職員）
 ③H27.4.1～H28.3.31 ④復興むらづくり推進課（道路事業担当）
 ⑤私は、3月に弘前市役所を定年退職しました。第二の人生は地元町内のボランティアを考えましたが、昨秋、野田村派遣のお話があって思い直すことに。まだ気力と体力があるし、何より、今までの経験を活かせるのではないかとこの思いが日増しに強くなり、微力ながらも



野田村復興のお役に立てるかもしれないという思いが募って、運よく希望する復興むらづくり推進課に配属となりました。今は職場の方々にも恵まれた素晴らしい環境の中で、あっという間に2ヶ月が過ぎました。初めて訪れた三陸。海の幸、山の幸の豊富な野田村に住んで、いま少し人生を楽しもうと思っています。



①東 健二（ひがしけんじ）
 ②東京都任期付
 ③H24.9.1～H28.8.31
 ④地域整備課（土木班）
 ⑤今回の地震の時は東京の民間の現場にいて、強烈な揺れ・長さを体験、これにはただ事では無いと直感した。1年後退職と同時に復興に役立とうと東京都に派遣職員として採用された。みちのく岩手は初めてで青空と白樺のイメージしかなかったため、最初の年の冬1mも積もる雪とマイナス10度の世界には驚き雪国の厳しさを思い知らされました。住まいはずっと被災者と同じ仮設ハウスに住み不自由な事も多いが、野田村は自然がいっぱいの綺麗な所で、人柄も良く6月7月になると皆さんはわずかばかりの空き地に花を植えられて心を和ませてくれています。時々ハーブ茶を頂いたりしています。職務は、漁港・道路・橋の補修・分署の建設等多岐にわたりますが経験を活かし頑張っています。

①氏名 ②派遣元 ③派遣期間 ④所属 ⑤一言

①齋藤 祐規（さいとう ゆうき）
 ②青森県青森市
 ③H27.4.1～H28.3.31
 ④復興むらづくり推進課（公園担当）
 ⑤野田村に派遣になり、来てまず感じたのは水がキレイなところ。河口付近の下流にも関わらず、そのまま飲めるのではないかと思うくらいキレイで驚くと同時に自然豊かでいい街だなと思いました。聞くとサケが遡上してくるとのこと。納得です。野田村は漁業が盛んなようですが、なるほど魚介類が美味しい。ただ、やませの影響は初体験になりますのでその恐ろしさを日々感じるようになってきています。





派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

山中 清隆さん (大阪府富田林市)

【派遣先(期間)】大槌町(H26.4.1～H27.3.31)
【現在のお仕事】市消防本部 防災担当 (消防本部への出向)

【派遣を終えて一言(派遣先の思い出など)】

↓平成27年8月に大槌町訪問時の様子(中央ピンクのポロシャツの方が山中さん)

大槌町の職員や、住民の皆様には公私にわたり大変お世話になりました。大槌町での担当業務は、派遣元で防災業務の経験が約10年あったことから、同じ防災を担当していました。本市は大阪府でも内陸に位置し、災害想定も土砂災害が主なもので、沿岸部の防災の経験がない中で、赴任期間中に3回も「津波注意報」の対応をすることとなりました。

特にH26年4月2日にチリで発生した地震による津波注意報に関しては、まだ大槌町への移動中で、到着と同時に辞令交付のないまま対応を行うこととなりました。また、県庁などで行われる防災担当者会議や、着任早々に大槌町の新採用職員さんに研修を行う機会があり、町の防災の取り組みや土のう作りの研修を行った時にも、テレビや新聞の取材を受け、これも経験のなかったことで大変驚くこととなりました。

職員の皆さんとは、私が大阪人であることから、「お好み焼き」に誘われ、釜石市の店には頻繁に通い美味しい焼き方を伝授しました。H27年8月に訪問した際にもその店で歓迎会を開催してもらい、皆から「お帰りなさい」と言われた時には、自然に「ただいま」と言ってしまうました。大槌で出来た仲間は、「今回の災害により全国から多くの温かい支援をいただきました。あってはならないことですが、富田林市で大きな災害があったら必ず応援に行きます。」と言ってくれる有難い方たちで、私の大きな財産となりました。



【お国自慢♪♪(地元の紹介、現在のお仕事の様子など)】

富田林市は、大阪府の東南部で大阪都心部から約20kmに位置し、緑豊かな自然と歴史文化に恵まれた地域を有しています。特に本市の中心部は、歴史的にも貴重な町並みが今も存在する地域となっており、大阪府で唯一の「国の重要伝統的建造物群保存地区(富田林寺内町)」の指定を受けています。そして、高校野球で有名なPL学園が所在するところで、大槌町でも挨拶をするときには、よくPL学園の名前を使わせて頂きました。富田林に帰ってからは消防本部に出向し、防災担当として町会や自治会、学校等に、大槌町の復興の様子や地域の防災への取り組み等を紹介しながら24回の出前講座を行ってきました。現在は市を退職し社会福祉協議会で「熊本地震」への募金活動を行ったりしていますが、これからも何らかの方法で大槌町さんと関われる機会を見つけていきたいと考えています。



「防災を考える」講座の様子

「お元気ですか？～あの人は今～」②



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。



安藤 裕之さん
(神奈川県相模原市)

【派遣先(期間)】大船渡市 災害復興局 土地利用課
(H26.4.1～H27.3.31)

【現在のお仕事】都市建設局 まちづくり計画部 街づくり支援課
(景観計画、屋外広告物規制、地区計画によるまちづくりの推進と市民との協働作業)

【派遣を終えて一言(派遣先の思い出など)】

「復興支援」ということで、被災地域の土地利用方針の検討業務を担当しましたが、むしろ、住民の方々の「復興」への熱い想いに日々学ぶことばかりでした。地域の皆さんが行政に頼るばかりでなく、自分たちでやることはやろうという意気込みで実施された、草刈や清掃活動への参加を通じて、気持ちを通じ合ったときは、「来てよかった！」と大きな充実感に浸りました。その後の交流もあって、3月に開いていただいた「手づくり」の送別会は一生の思い出となりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。現在は、大船渡で学んだまちづくり手法を相模原にも取り入れようとがんばっています。帰ってきて早くも8ヶ月が過ぎましたが、いまだに大船渡のお天気と気温をチェックすることから毎朝が始まるような状態です。



→
大船渡市三陸町越喜来にそそり立つ「ど根性ポプラ」。3度の大津波に耐えたとか。

←
大船渡市三陸町甫嶺で実験的に植えた「蕎麦」。予想以上の収穫に地元は沸き立ち、みんなで蕎麦打ちの会を開催！



【お国自慢♪♪(地元の紹介、絶景スポットなど)】

相模原市の一番のトピックスは、2027年にJR及び京王の橋本駅付近にリニア中央新幹線の駅が設置されることです。品川とはわずか11分、名古屋とは約60分で結ばれる予定です。また、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の相模原インターチェンジが今年3月に開通し、10月には東名高速から東北自動車道までが結ばれ、利便性が非常に高くなりました。こうしたことから、今後、相模原を訪れる人の圏域が大きく変わることが予想され、広域交流拠点都市としてのまちづくりが始まっています。このほかでは、先のノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生とゆかりの深い北里大学や女子美術大学、また、ジャイアンツの原監督(前)の出身校であり、今年夏の高校野球で全国制覇した東海大相模高校や今年初めの箱根駅伝で優勝した青山学院大学も市内にあり、市民にとっての誇りとなっています。まだまだご紹介したいことがたくさんありますので、ぜひ下記「さがみはらシティセールス」のホームページをご覧ください、相模原にお越しく下さい！

<http://pr.city.sagamihara.kanagawa.jp/index.html>

「おおふなトン」大好きですが、「さがみん」もよろしく！



↑
相模川にかかる新旧の「小倉橋」夏のライトアップは息をのみます。※かながわの景勝50選※



→
14.5m四方、950kgは日本一！「相模の大凧あげ」



←
中央本線、中央高速から見える「みどりのラブレター」がある藤野は芸術の町。



大澤 雅彦さん
(神奈川県藤沢市)

派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

【派遣先(期間)】大船渡市 災害復興局 土地利用課
(H24.4.1～H25.3.31)

【現在のお仕事】計画建築部 都市計画課 都市交通計画担当
(自転車ネットワーク、路線バスの再編・新設)

【派遣を終えて一言(派遣先の思い出など)】

大船渡市を離れて早3年。赴任当初は、知らない土地・初めての一人暮らし・そして4月だということにファンヒーターが手放せない気候、本当に1年間生活できるか心配でした。また、業務面では、藤沢市において区画整理事業の経験もあり少しは復興の力になれるとの思いで業務に当たりましたが、実際はプロパー職員の熱意に圧倒され、日々の業務について行くので精一杯だった思いがあります。今は、毎年大船渡に遊びに行き、復興事業の進捗に胸を躍らせ、おいしい海の幸を腹一杯いただき、自分が出来る応援を続けていきたいと思ひます。



【お国自慢♪♪(地元の紹介、名産品など)】

藤沢市は、湘南の海に開かれ、遠くに富士山を望み、年間1,300万人を超える人が訪れる観光都市です。特に、「東洋のマイアミビーチ」といわれる美しい海岸線を有し、多くのマリンスポーツを楽しむ人で賑わう片瀬海岸や古くから参詣・遊山の地として賑わってきた江の島は日本有数の人気エリアとなっています。

また、東海道の宿場町として「江の島詣」をはじめ、古くから多くの観光客で賑わってききましたが、いまだに鎌倉市(隣市)の一部だと思っている方が多いかもしれません。

今年の6月に「2020東京オリンピックのセーリング競技」会場に決まったことから、「湘南江の島＝藤沢」と結びつくよう職員一丸となって猛烈に湘南藤沢をアピールしていきたいと思ひます。

まずは、「大船渡のホタテ」のように「藤沢のシラス」を今以上に売り込んで行きます(今年は少し不漁ですが・・・)。是非「シラス丼」を食べに湘南江の島へ。おまちしております。



↑おなじみの江の島です。江の島は古都鎌倉でも、サザンの茅ヶ崎でもなく、藤沢にあるんです！

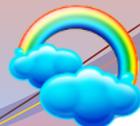


↑江の島頂上にある展望灯台、通称“江の島シーキャンドル”です。関東3大イルミネーションに選ばれました。

自称江の島名物、“生シラス丼”です。岩手の海の幸とは比べものにはなりません、一応売り出し中です。



← 2020年の東京オリンピックでは、このすばらしい景色の中で、セーリング競技が行われます。



派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

小田 敏行さん
(東京都板橋区)

【派遣先(期間)】大船渡市 災害復興局 復興政策課 (H25.4.1～H26.3.31)
【現在のお仕事】土木部 計画課設計第二グループ
(道路・橋梁等の補修工事の設計)

【派遣を終えて一言(派遣先の思い出など)】

大船渡市での業務は、復興推進本部会議や社会資本の復旧・復興ロードマップの資料作成を担当しました。これにより、市の復興事業の全体的な進捗を把握することができましたが、平成25年度は復興事業の計画が固まりつつある時点で、家々が立ち並び集団移転団地はありませんでした。平成27年の秋に訪問したところ、三陸沿岸道が吉浜まで開通し、集団移転団地には新しい家並みが完成しており、計画として見てきた復興が形となっていて、安心しました。生活においては、宿舎のあった盛町のお祭りに参加させていただき、「あんどん七塔山車」の製作では、半紙を張り合わせて一枚の台紙をつくることから



後ろが
小田さん

絵を描くまで携わり、貴重な体験と地域活動の楽しさを体験させていただきました。

【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

板橋区は、東京23区の北西部に位置し、埼玉県戸田市との間には荒川が流れています。この荒川では夏には「いたばし花火大会」があり、都内最大の尺五寸玉やスターマインをはじめとする打上げ花火約6,000発や、いたばし花火名物の関東最長級700mの「大ナイアガラの滝」など、たくさんのお見どころがあります。また、同時開催の対岸戸田市の打上げ数と合計すると実に約12,000発の花火が夏の夜空を彩ります。

また、春には1万人を超えるランナーが参加する「板橋Cityマラソン」が開催されます。日本陸上競技連盟公認のコースはフラットで走りやすいことに加え、7時間という長い制限時間のため完走率も高く、初めてフルマラソンを走る方にも好評です。また、充実した給水・給食サービスも本大会の魅力のひとつです。私も毎年参加しています、みなさまも参加してみませんか。



いたばし花火大会

【派遣先(期間)】大船渡市 災害復興局 土地利用課 (H26.4.1～H27.3.31)
【現在のお仕事】産業部 産業総務課 専門監

【派遣を終えて一言(派遣先の思い出など)】

1年間、大船渡市の駅周辺土地区画整理事業に携わりました。大船渡市プロパー職員、他市応援職員等、UR都市機構、建設工事業者、コンサルタント業者等の非常に多くの方々協力して事業を推進しています。数年後に面整備が完了すると、プロパー職員以外はいなくなってしまう。まちづくりは整備完了後も終わらないので、今のうちに技術的な経験を積んだプロパー職員の育成が重要になると思います。

杉石 秀和さん
(静岡県浜松市)



【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

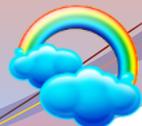
平成27年11月に浜松市で「ゆるキャラグランプリ2015in出世の街 浜松」が開催されました。全国から3,000体以上のゆるキャラが参加し、約8万人の来場者がありました。岩手県からは「ケロ平」がかけつけました。浜松市のゆるキャラ「出世大名家康くん」は全国1,727体のなかから投票で1位グランプリを獲得しました。家康くんのPR活動には、市民応援団が結成されて80万市民が一体となって応援した結果が実ったものです。家康くんの知名度の高まりを、今後も浜松市の魅力PRにつなげていきたいと考えています。詳しくは、「ゆるキャラグランプリ」で検索してみてください。



ゆるキャラグランプリ2015

出世大名家康くん





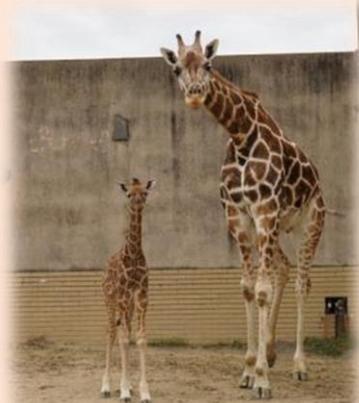
派遣期間を終了し、派遣元へ戻られた職員さんの近況をお知らせします。

藤原 初美さん
(山口県周南市)

【派遣先(期間)】大船渡市 生活福祉部 市民生活環境課
(H26.4.1～H27.3.31)
【現在のお仕事】経済産業部 動物園(管理担当)

【派遣を終えて一言(派遣先の思い出など)】

大船渡市の皆様には公私にわたり大変お世話になりました。派遣期間中は地球温暖化・エコライフ・廃棄物を担当していました。窓口業務や電話対応をするうえで気仙語が分からなく同僚職員に度々助けてもらっていました。不法投棄の回収業務をしているとき、たまにカモシカやシカに会い、作業は大変でしたが癒されてもいました。また、仮設住宅に住み、住民の方から震災当時のお話を聞かせていただいたり、団地内の行事に誘っていただいたり、慣れない土地で生活するうえでとてもありがたく、今でも心から感謝しております。今では毎日変わり行く復興の姿をテレビやインターネットでしか、なかなか見ることができませんが、今年の秋は大船渡のサンマを周南市中に宣伝しました。これからも自分ができる応援をしていきたいと思ひます。一日も早い復興を本州の西の端からお祈りいたします。



アミメキリン

【お国自慢♪♪(地元の紹介)】

周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地、そのふもとは田園地帯、南には瀬戸内海、その海岸線沿いには大規模工業地帯があります。観光名所と言えば、街の中にある徳山動物園(S35.3開園)です。今年度に入ってアムールトラ(3つ子)・アミメキリン・マンドリルの赤ちゃんが誕生、夏休みの企画展として「夏だ!ゴキだ!ごきぶり展」を開催した際は、テレビやネット、又、国際的な動物園情報誌にも日本の動物園での取組みの一つとして紹介されました。また、日本最高齢のホッキョクグマやスリランカゾウ(H25来園)もいます。HPをご覧ください、おいでませ周南市へ周南市HP



アムールトラ(3つ子)



マンドリルの親子



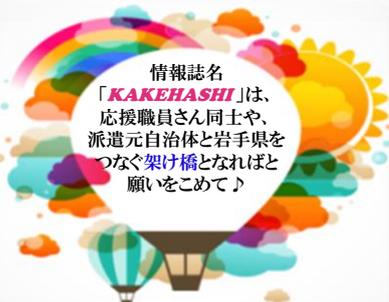
<http://www.city.shunan.lg.jp/>
徳山動物園HP
<http://www.tokuyamazoo.jp/>

★ 応援職員相談窓口のご案内 ★

応援職員の皆様が慣れない環境の中で可能な限り円滑な業務遂行を行い、より良い執務・生活環境を確保できるよう、常時受付する相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。
メール:FA0052@pref.iwate.jp TEL:019-629-5236

発行元連絡先

岩手県政策地域部市町村課
調整担当
メール:FA0052@ref.iwate.jp
TEL:019-629-5236



情報誌名「KAKEHASHI」は、応援職員さん同士や、派遣元自治体と岩手県をつなぐ架け橋となればと願いをこめて♪